

2018年度事業報告書

特定非営利活動法人ささえあい医療人権センターCOML（コムル）

I 事業期間

2018年4月1日～2019年3月31日

II 事業の成果

2016年7月1日に認定NPO法人として認証されたのを機に、団体賛助会員の入会依頼に力を入れたきたが、前年度から10団体増えて83団体（105口）に至っている。ただし、個人の会員は正会員が17名増えて287名、賛助会員が3名減って147名となっていて、会員増を図ることが引き続き今後の課題である。

講演回数と収入はほぼ前年度と同じ実績だったが、2018年6月20日に発行した『賢い患者』■■■■著・岩波新書が発売から2ヵ月半で増刷するほどの反響を得、その印税の影響で原稿料収入が約100万円の増加となった。また、それに伴い書籍・物品収入も約23万円増加している。

日常の活動の柱である電話相談は、28年間の活動を経て6万件を超えた。2016年度から2017年度にかけては334件の相談件数増加があり、その背景にCOML110番の反響があったが、2018年度は特に東京でのCOML110番の反響があまりなかったにもかかわらず、全体では更に51件増加する結果となった。これは、『賢い患者』の出版に伴い、メディアで紹介される機会が非常に多かったことも影響している。また、2018年11月から相談活動の集約化をはかり、相談対応を月・水・金・土に限定することによって相談スタッフの2～3人体制を確立したことにより、より多くの相談対応が可能になったことも理由として挙げられる。また、2019年度から開始予定の東京での相談活動のスタッフ候補者が東京で実施した「COML110番」で実質的なデビューを果たし、実際の相談活動が現実味を帯びてきた。

研修会では、ミニセミナー患者塾の参加者が倍増した。また「医療をささえる市民養成講座」を1コース増やしたことで収入も約30万円増加した。『賢い患者』を読んで「委員として活躍したい」と考える参加者が増えていることも大きな変化である。「医療をささえる市民養成講座」を基礎コースとし、それを修了した人を対象にしたアドバンスコース「医療関係会議の一般委員養成講座」は前年度の2回から1回に減らしたので収入は減額したが、アドバンスコース合格者が登録できる「COML委員バンク登録会員」は12名に増え、10ページに記載しているように登録会員が就任している会議はこの短期間で20に及んでいる。

SP（模擬患者）の活動は、大学医学部では2020年度に参加型臨床実習終了後客観的臨床能力試験（post-CC OSCE）をいっせいでスタートするにあたり、そのトライアルが2017年度から始まり、その影響もあって派遣延べ人数は11名増加した156名であった。

また、今年度の大きな特徴として、病院探検隊の依頼が7件あり、昨年度から5件の増加だった。収入としても約100万円の増加に寄与することができた。

弁護士の依頼による調査協力のドクターコメントとして第三者の協力医との面談を求める依頼やカルテ翻訳依頼は、減少する傾向にある。ただ、調査協力は協力医の無償ボランティアの協力という非常に大きな支援によるものであることを例年通り、ここに記しておきたい。

厚生労働省、文部科学省をはじめとした国の検討会、審議会や自治体や各種団体、大学などの委員要請は更に増え、2016年度から2017年度に就任していた委員は16増えたが、更にそれを越えて今年度は101に及び。委員会の出席回数は2017年度の152回から173回へと更に21回も増えている。政策提言に積極的にかかわり、幅広い分野の最新の情報が得られるだけでなく、人脈の拡がりの大きな原動力ともなっている。依頼があってはじめて実現する役割なだけに、真摯な姿勢で積極的に発言し、医療の発展に寄与していきたいと考えている。ただ、多くの時間を割いている割には、COMLの収入増に直接つながらないことが悩みでもある。しかし、「COML 委員バンク」が短期間で充実してきたことから、全国ブロックでのバンク化も夢ではないと感じ始めている。その充実のためにも更なる努力を続けていきたい。

以上、2018年度は前述したようなことを中心に活動を進めてきた。まとまったご寄付も複数あり、団体賛助会員の増加、『賢い患者』の印税、病院探検隊の派遣回数増加など、諸々の要因が重なり、前年度と比較すると会費収入が約40万円増、事業収入が約400万円増、寄付金収入が約150万円増となった。活動の活性化によって支出も増加したが、最終的に2018年度の会計収支は2,373,235円の黒字を得ることができた。次年度は東京での相談活動を始めることもあり、更に活動を充実させると共に、団体賛助会員の増加をはじめ、会員増に力を入れ、経営の安定に力を入れていきたい。

以上

Ⅲ 事業の実施に関する事項

(1) 会報誌発行・講師派遣等の普及啓発活動

[内容]	依頼された各種団体や医療機関、行政などの依頼に基づき、講演やシンポジウムでCOMLのメッセージを届け、一般の人には「賢い患者」になる必要性和情報提供を、医療者には患者とのコミュニケーションの重要性について普及啓発する。さらにCOMLからのメッセージを会報誌や書籍、小冊子を介して発信すると共に、時代の必要性に応じた意識啓発のためのキャンペーンを実施する。2018年6月20日には『賢い患者』 XXXXXXXXXX 著・岩波新書を上梓。その印税も原稿収入に含まれている。
[実施場所]	講演等は招聘された場所。会報誌や書籍等の製作は、大阪市北区西天満3丁目13番9号 西天満パークビル4号館5階(当法人事務所)
[実施日時]	随時
[事業の対象者]	講演等は受講者(派遣回数142回<1回減>)。会報誌はCOML会員や講演受講者に配布。書籍・小冊子は購入者。
[収入]	13,780,907円 (講演収入7,486,958円 講演未収入金324,000円 原稿収入2,415,206円 書籍・物品収入676,284円 受取送料46,120円 旅費交通費2,764,830円 旅費交通費未収入金67,509円)

*参考：当年度期間内に個人口座に振り込まれた講演謝金は612,469円、原稿料は29,930円で、これは税金分を差し引いた後、次年度に寄付金として本会計に入金します。そのため、(1)の実態講演収入は、8,423,427円、実態原稿料収入は2,445,136円です。

[支出]	14,332,350円 (給料手当 <u>4,853,500円</u> 法定福利費 <u>632,500円</u> 旅費交通費2,758,637円 (2,553,637円+ <u>205,000円</u>) 通信運搬費1,037,680円 諸謝金203,247円 書籍物品費217,296円 印刷製本費2,508,840円 光熱水料費 <u>152,000円</u> 賃借費 <u>1,458,500円</u> 災害保険料 <u>2,500円</u> 消費税 <u>507,650円</u>)
50%	(下線部は比率ごとに按分した算出分です)

(2) 電話・手紙・FAX・メール等による医療に関する相談

[内容]	COML電話相談スタッフ(非医療者)が相談に対応し、相談者の気持ちを受け止め、問題整理・解決のための支援やアドバイス、情報提供をおこなう。集中電話相談として医療者の協力を得て「COML110番」も実施
[実施場所]	大阪市北区西天満3丁目13番9号 西天満パークビル4号館5階(当法人事務所) COML110番東京開催は、東京都文京区本郷7丁目3-1 東京大学医学部附属病院

[実施日時] 月～金 9:00～17:00 土 9:00～12:00
 COML110 番は、大阪：6月30日(土)～7月1日(日) 10:00～18:00、
 東京：8月25日(土)～26日(日) 10:00～18:00
 当年度内の相談総数：1,756件<51件増>

[事業の対象者] 不特定の市民、医療者

[収入] なし

[支出] 1,579,718円
 (旅費交通費 583,966円 通信運搬費 27,098円 諸謝金 948,000円
 図書研修費 14,904円 消耗品費 5,750円)

(3) 研修会・フォーラム・シンポジウム等の開催

①ミニセミナー「患者塾」

[内容] 身近な医療問題をテーマにとりあげ、テーマに沿った体験者・実践者等の話題提供のあと、参加者によるグループディスカッションや質疑応答をおこない、問題意識を高める。

[実施場所] 大阪市北区西天満3丁目13番9号 西天満パークビル4号館5階(当法人事務所)

[実施日時] 231回 4月28日「何が変わった？ 今年の診療報酬改定」
 232回 6月16日「DVD『裕次郎さんの施設見学』を鑑賞し、終の棲家について考えてみませんか？」
 233回 8月25日「情報の見極め方を学びましょう！」
 234回 10月20日「語り合おう！『賢い患者』聞いてみよう！行間に込めた想い」
 235回 12月22日「今さら聞けない?? 医療の基本について学びませんか！」
 236回 3月30日「医療の基本について学びませんか！パート2」

[事業の対象者] 広報による参加者

[①収支の内訳] (収入) 100,800円(研修会収入)
 (支出) 90,843円
 (旅費交通費 30,000円 通信運搬費 27,432円
 諸謝金 33,411円)

②患者と医療者のコミュニケーション講座

[内容] 患者のコミュニケーション能力を高めるために、ゲームやロールプレイ、ディスカッションなどを通して自らのコミュニケーションの癖や課題に気づくためのワークショップをおこなう。

[活動場所] 大阪市北区西天満3丁目13番9号 西天満パークビル4号館5階(当法人事務所)
 東京都文京区本郷7-3-1(東京大学本郷キャンパス)

[実施日時] 大阪：6月23日(土)
 東京：10月6日(土)

[事業の対象者] 一般市民・医療従事者

[②収支の内訳] (収入) 21,000円(研修会収入)
 (支出) 12,538円(旅費交通費)

③医療をささえる市民養成講座

[内容]	医療周辺の制度、しくみ、知識などを学び、理解したうえで、自らも賢い患者としてコミュニケーション能力を高め、従来よりもう一步踏み込んで医療に参加する意識を養う。今年度は第10期。
[活動場所]	東京都文京区本郷7-3-1（東京大学本郷キャンパス）
[実施日時]	大阪日曜コース：4月14日、5月13日、27日、6月9日、24日 東京日曜コース①：7月22日、8月5日、9月2日、16日、30日 東京夏期コース：8月11日、12日、13日、14日、15日 東京日曜コース②：10月7日、21日、11月4日、18日、12月2日 全4コース（20回×3時間開催）
[事業の対象者]	一般市民・医療従事者
[③収支の内訳]	(収入) 1,036,500円（研修会収入） (支出) 396,678円 (旅費交通費 325,125円 通信運搬費 7,833円 印刷製本費 6,480円 消耗品費 57,240円)

④医療関係会議の一般委員養成講座

[内容]	基礎コース「医療をささえる市民養成講座」全コースを修了した人を対象に、医療関係の会議で一般委員として冷静かつ客観的な意見を述べられる人を養成する。2回にわたっておこなう模擬検討会で合格した人に「COML委員バンク」の登録資格を付与する。
[活動場所]	東京都文京区本郷7-3-1（東京大学本郷キャンパス）
[実施日時]	12月9日、16日、1月12日、26日、2月10日、24日、 3月10日（日） 7回×3時間
[事業の対象者]	一般市民
[④収支の内訳]	(収入) 735,000円（研修会収入） (支出) 330,593円 (旅費交通費 149,216円 通信運搬費 6,877円 諸謝金 150,000円 消耗品費 24,500円)

⑤総会の実施

[内容]	総会に合わせて、拡大患者塾等を開催。
[活動場所]	大阪府中央区大手前1-3-49（ドーンセンター）
[実施日時]	5月19日 /
[事業の対象者]	正会員（拡大患者塾は賛助会員も）
[⑥収支の内訳]	(収入) なし (支出) 29,260円 (旅費交通費 2,060円 賃借費 5,600円 次期前払賃借費 21,600円)

①～⑤総合して

[収入]	1,893,300円（研修会収入）
[支出]	2,109,776円 (給料手当 <u>776,560円</u> 法定福利費 <u>101,200円</u>)
8%	

旅費交通費 551,739 円 (518,939 円+32,800 円)
 印刷製本費 6,480 円 通信運搬費 42,142 円 諸謝金 183,411 円
 光熱水料費 24,320 円 賃借費 260,560 円 (5,600 円+次期前払賃借
 費 21,600 円+233,360 円) 災害保険料 400 円
 消耗品費 81,740 円 消費税 81,224 円
 (下線部は比率ごとに按分した算出分です)

(4) SP (模擬患者) の活動

[内容] 大学医学部・看護学部 (看護学校)・医療機関等の卒後研修などの依頼
 に対して、コミュニケーションセミナーのための患者役として SP を
 派遣する。
 第 6 回関西 SP 交流会を 3 月 23 日に開催した。

[実施場所] 指定された場所
 第 6 回関西 SP 交流会は、ドーンセンター (大阪府中央区大手前 1-3-49)

[実施日時] セミナー、授業、試験など年間派遣回数 49 回<6 回減>

[事業の対象者] 医学生 6 回<不変>、看護学生 6 回<1 回減>、その他学生 5 回<1 回増>、
 研修医 4 回<1 回増>、医療者卒後研修 5 回<4 回減>、医療面接練習や
 試験 22 回<不変>、学会 1 回<1 回増> 派遣延べ人数 156 名<11 名増>

[収入] 3,277,890 円
 (SP 活動収入 2,326,000 円 SP 活動未収入金 226,800 円
 旅費交通収入 698,970 円 旅費交通未収入金 26,120 円)

[支出] 3,467,447 円
 (給料手当 1,164,840 円 法定福利費 151,800 円
 旅費交通費 781,494 円 (732,294 円+49,200 円)
 通信運搬費 17,380 円 諸謝金 794,137 円 消耗品費 1,000 円
 光熱水料費 36,480 円 賃借費 397,880 円 (47,840 円+350,040 円)
 災害保険料 600 円 消費税 121,836 円)
 (下線部は比率ごとに按分した算出分です)

12%

(5) 病院探検隊の実施

[内容] 依頼のあった医療機関に対して病院探検隊員を派遣し、自由見学・案
 内による見学・(医療機関の要請に応じて) 受診をおこなう。医療機関
 の職員とのディスカッションをおこない、感想・意見等をフィードバ
 ックする。後日、レポートを医療機関に提出する。5~6 名を派遣し、
 自由見学と受診という縮小した形でおこなうハーフ病院探検隊もメニ
 ューとして用意し、病院探検隊を希望する医療機関が選択する。

[実施場所] 依頼のあった医療機関

[実施日時] 派遣回数 7 回<5 回増>
 京都民医連太子道診療所 (6 月 4 日実施・ハーフ探検隊)
 甲賀市水口医療介護センター (8 月 10 日実施・ハーフ探検隊)
 甲賀市立信楽中央病院 (10 月 16 日実施)
 JA 愛知厚生連海南病院 (12 月 3 日実施)
 神奈川県立がんセンター (1 月 24 日実施)

	関中央病院 (1月29日実施)
	大阪精神医療センター (2月13日実施)
[事業の対象者]	医療機関の職員
[収入]	2,173,630円 (病院探検隊収入1,404,000円 病院探検隊未収入金324,000円 旅費交通収入397,310円 旅費交通未収入金48,320円)
[支出]	1,926,844円 (給料手当 <u>776,560円</u> 法定福利費 <u>101,200円</u> 旅費交通費489,780円 (456,980円+ <u>32,800円</u>) 諸謝金220,000円 光熱水料費 <u>24,320円</u> 賃借費 <u>233,360円</u> 災害保険料 <u>400円</u> 消費税 <u>81,224円</u>)
8%	(下線部は比率ごとに按分した算出分です)

(6) 弁護士等の依頼による調査協力

[内容]	医療を受けて納得いかない結果に陥った患者・家族からの法的解決依頼を引き受けた弁護士からの依頼で、カルテ翻訳や協力医による検証のためのコーディネートをおこなう。
[実施場所]	大阪市北区西天満3丁目13番9号 西天満パークビル4号館5階(当法人事務所)、あるいは協力医の指定した場所
[実施日時]	随時(カルテ翻訳受付73回<7回減> 協力医と弁護士の面談28回<5回増>)
[事業の対象者]	弁護士
[収入]	2,368,170円(調査協力収入)
[支出]	2,292,362円 (給料手当 <u>1,067,770円</u> 法定福利費 <u>139,150円</u> 旅費交通費91,710円 (46,610円+ <u>45,100円</u>) 通信運搬費63,638円 諸謝金463,551円 光熱水料費 <u>33,440円</u> 賃借費 <u>320,870円</u> 災害保険料 <u>550円</u> 消費税 <u>111,683円</u>)
11%	(下線部は比率ごとに按分した算出分です)

(7) 委員派遣等の政策提言活動

[内容]	医療機関や地方自治体から外部委員の要請を受け派遣したり、マスメディアからの出演依頼、取材依頼などに応じたりする。委員としての検討会・審議会等会議への出席回数は公表できるものだけで173回<21回増>。ただし、会議への出席等の謝金の中で個人宛に支給されるものは下記「委員会謝礼」に含まれず、いったん個人口座に入金してプールし、税金処理終了後に寄付金収入として本会計に入金するシステムを採っている。
[実施場所]	依頼のあった場所
[実施日時]	随時
[事業の対象者]	依頼者
[収入]	5,771,975円 (その他謝金2,292,529円<内訳：委員会謝礼703,129円・協力謝

金 937,200 円・協力謝金未収入金 400,000 円・取材謝礼 252,200 円> 旅費交通収入 3,479,446 円)

*参考：当年度期間内に個人口座に振り込まれた委員会謝礼総額は2,826,539 円、取材謝礼 30,000 円で、これは税金分を差し引いた後、次年度に寄付金として本会計に入金します。そのため、実態委員会謝礼総額は 3,529,668 円で(7)の実態合計収入は、8,628,514 円です。

[支出] 4,769,517 円
11% (給料手当 1,067,770 円 法定福利費 139,150 円
旅費交通費 3,096,054 円 (3,050,954 円+45,100 円)
光熱水料費 33,440 円 賃借費 320,870 円 災害保険料 550 円
消費税 111,683 円)
(下線部は比率ごとに按分した算出分です)

(8) その他

(1～7に特化できない横断的な支出。旅費交通費は出張手当、通信運搬費は切手代)

[支出] 1,324,507 円
(旅費交通費 1,206,000 円 通信運搬費 118,507 円)

●2018 年度に COML として就任していた審議会・検討会・委員会・役員など (101)

<国>33

厚生労働省社会保障審議会医療部会

文部科学省課題解決型高度医療人養成推進委員会

文部科学省歯学教育の改善・充実に関する調査研究協力者会議

厚生労働省医療介護総合確保促進会議

厚生労働省歯科医師の資質向上等に関する検討会

厚生労働省歯科医師の資質向上検討会専門性ワーキンググループ

厚生労働省異状死死因究明支援事業選定委員

厚生労働省独立行政法人評価に関する有識者会議

厚生労働省医療従事者の需給に関する検討会

厚生労働省医療従事者の需給に関する検討会医師受給分科会

厚生労働省医療従事者の需給に関する検討会看護師受給分科会

厚生労働省医療従事者の需給に関する検討会理学療法士作業療法士需給分科会

厚生労働省医薬・生活衛生局医療情報データベース運営検討会

厚生労働省医療情報の提供に係る制度のあり方検討会

厚生労働省医療計画の見直し等に関する検討会

厚生労働省全国在宅医療会議

厚生労働省全国在宅医療会議ワーキンググループ

厚生労働省厚生科学審議会医薬品医療機器制度部会

厚生労働省今後の医師養成の在り方と地域医療に関する検討会

厚生労働省厚生科学審議会臨床研究部会

厚生労働省特定機能病院管理者研修事業評価委員会

厚生労働省医薬・生活衛生局安全対策調査会（タミフル等）
厚生労働省かかりつけ医に対する患者ニーズに関する調査検討会
厚生労働省国立高度専門医療研究センターの今後の在り方検討会
厚生労働省医療等分野情報連携基盤技術ワーキンググループ
厚生労働省看護基礎教育検討会
厚生労働省特定機能病院におけるピアレビュー推進事業事業者選定評価メンバー
厚生労働省あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゆう師及び柔道整復師等の広告に関する検討会
厚生労働省オンライン診療の適切な実施に関する指針の見直しに関する検討会
厚生労働省全国在宅医療会議ワーキンググループ国民の普及啓発小グループ
厚生労働省医道審議会医師分科会臨時委員（医師専門研修部会）
厚生労働省 NDB 情報を活用した全国医療機能情報提供制度・全国薬局機能情報提供制度に関する調査研究一式に係る技術提案書評価委員会
厚生労働省科学研究費・政策科学総合研究事業「医療における AI 関連技術の利活用に伴う倫理的・法的・社会的課題の研究」研究班

<地方行政関係> 11

地方独立行政法人神戸市民病院機構評価委員会
大阪府薬事審議会
大阪府医療対策協議会
大阪府地域医療支援センター運営事業委員会
東京都立病院経営委員会
大阪府感染症対策懇話会委員
都立病院経営委員会「今後の都立病院の担うべき医療の方向性」に関する検討部会
大阪府医療費適正化計画推進審議会
東京都地域医療構想調整部会
奈良県「面倒見のいい病院」指標検討会
大阪府死因調査等協議会

<公的民間機関> 19

公益財団法人日本医療機能評価機構 EBM 医療情報事業運営委員会
公益財団法人日本医療機能評価機構産科補償制度運営委員会
社団法人医療系大学間共用試験実施評価機構理事
公益財団法人日本医療機能評価機構医療事故運営委員会
歯科医師臨床研修マッチング協議会運営委員会
大阪府看護協会事業運営委員会
公益財団法人日本医療機能評価機構 EBM 医療情報部患者・市民支援部会
国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）アドバイザーボード委員
一般社団法人日本医療安全調査機構 医療事故調査・支援事業運営委員
一般社団法人日本医療安全調査機構 医療事故調査・支援事業再発防止委員会委員
一般社団法人日本医学教育評価機構（JACME）理事
日本医療機能評価機構評価事業推進部評価項目改定部会委員
一般社団法人全国訪問看護事業協会理事
公益社団法人医療系大学間共用試験実施評価機構診療参加型臨床実習後客観的臨床能力試験委員会

日本医療研究開発機構（AMED）平成 29～30 年度臨床研究等における患者・市民参画に関する動向調査委員会

日本医療機能評価機構診療ガイドラインと費用対効果の在り方検討会

独立行政法人医薬品医療機器総合機構（PMDA）MID-NET 有識者会議

AMED「患者・消費者向けの医薬品等情報の提供のあり方に関する研究」班

独立行政法人医薬品医療機器総合機構（PMDA）運営評議会専門委員（審査・安全業務委員会）

<医療機関>30

耳原総合病院研修管理委員会

神戸市立医療センター中央市民病院地域医療支援事業運営委員会

大阪大学医学部アドバイザー委員会

滋賀医科大学医学部附属病院初期臨床研修管理委員会

市立豊中病院運営審議会

滋賀医科大学コア生涯学習型高度専門医養成プログラム評価委員

京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院 医の倫理委員会

京都大学特定認定再生医療等委員会

大阪大学未来医療研究人材養成拠点形成事業「地域に生き世界に伸びる総合診療医養事業」外部評価委員

京都府立医科大学特定認定再生医療等委員会

慶應義塾大学病院病院機能改革アドバイザー会議委員

近畿大学医学部附属病院臨床倫理委員会

慶應義塾大学病院医療安全監査委員

杏林大学医学部附属病院医療安全監査委員

京都大学医学部附属病院医療安全監査委員長

大阪大学医学部附属病院医療安全監査委員

近畿大学医学部附属病院医療安全監査委員

北里大学病院医療安全監査委員

東海大学医学部附属病院医療安全監査委員

自治医科大学病院医療安全監査委員

京都大学医学部認定臨床研究審査委員会

岐阜大学医学教育開発研究センター運営協議会

昭和大学医学部カリキュラム検討委員会

東京医科大学病理診断報告書検討委員会

京都大学大学院社会健康医学系専攻外部アドバイザーボード

千葉大学医学部附属病院有識者懇談会

群馬大学医学部附属病院病院長候補者選考委員会

慶應義塾大学病院病院長選考委員会

河北医療財団特別調査委員会

島根大学医学部附属病院臨床研究として行う先進医療に関する適正化委員会

<医療団体>8

一般社団法人日本慢性疾患重症化予防学会倫理審査委員会

一般社団法人日本心血管インターベンション治療学会倫理委員会

戦略的創造研究推進事業（社会技術研究開発）委員

日本疫学会倫理審査委員

日本製薬工業協会患者団体アドバイザーボード
一般社団法人日本看護研究学会研究倫理審査委員会
一般社団法人 くすりの適正使用協議会共同ステートメント
一般社団法人日本内視鏡外科学会倫理・渉外委員会

非常勤講師

山口大学医学部

佐賀大学医学部

浜松医科大学

大分大学医学部看護学科

広島大学歯学部

富山大学医学部

京都薬科大学

京都府立医科大学

東北医科薬科大学

大阪薬科大学

●「COML 委員バンク登録会員」が就任している（予定含む）委員会

厚生労働省社会保障審議会医療分科会

厚生労働省 医療の質の評価・公表等推進事業評価委員会

厚生労働省 医療の質向上のための体制整備事業評価委員会

厚生労働省薬局ビジョン推進事業選定審査委員会

厚生労働省薬事・食品衛生審議会

厚生労働省地域における薬剤師・薬局の機能強化及び調査・検討事業選定審査委員会

厚生労働省科学研究費・政策科学総合研究事業「医療における AI 関連技術の利活用に伴う倫理的・法的・社会的課題の研究」研究班

厚生労働省科学研究費・政策科学総合研究事業「医療における AI 関連技術の利活用に伴う倫理的・法的・社会的課題の研究」研究班

国立循環器病研究センター 倫理指針不適合に係る第三者委員会

国立研究開発法人国立がん研究センター中央病院臨床研究審査委員会

国立研究開発法人国立がん研究センター研究倫理審査委員会

大阪大学医学部附属病院 介入・観察倫理審査委員会

大阪大学第一特定認定再生医療等委員会

大阪大学認定再生医療等委員会

京都大学特定認定再生医療等委員会

京都大学臨床研究審査委員会

京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院 医の倫理委員会

大阪府地方独立行政法人大阪府立病院機構評価委員会

大阪府医療相談等連絡協議会

大阪市地方独立行政法人大阪市民病院機構評価委員会

以上

理事	■■■■■■■■■■	(重任)
理事	■■■■■■■■■■	(重任)
理事	■■■■■■■■■■	(重任)
理事	■■■■■■■■■■	(重任)
理事	■■■■■■■■■■	(重任)
理事	■■■■■■■■■■	(重任)
理事	■■■■■■■■■■	(重任)
理事	■■■■■■■■■■	(重任)
理事	■■■■■■■■■■	(重任)
理事	■■■■■■■■■■	(重任)
理事	■■■■■■■■■■	(重任)
監事	■■■■■■■■■■	(重任)

V 理事会の開催状況

2018 年度第 1 回理事会

[日時] 2018 年 4 月 21 日 (日) 15:00～17:05

[場所] 当法人事務所

[出席者数] 理事 7 名出席 (3 名欠席)

[議案の内容] 1. 2017 年度決算と事業報告
2. 2018 年度予算と事業計画
3. その他

[審議結果] 1. 各内容について審議し、総会への提出内容を決定した。
2. 各内容について審議し、総会への報告内容を決定した。
3. 購入時に理事会で諮る必要のあるものは 100 万円以上を要するものとし、それ以下の購入物は担当理事と相談しながら理事長決済で決定することになった。
6 月 20 日発刊予定日が決まった『賢い患者』の印税 (価格の 15%) を COML の法人収入にすると考えていることを理事長が申し出、進捗状況やメディアでの紹介予定などを報告した。

2018 年度第 2 回 web 理事会

[日時] 2018 年 5 月 31 日 (日) 14:10～16:00

[場所] メールによる web 会議

[出席者数] 理事 10 名全員出席

[議案の内容] 1. 理事長の互選
2. 理事の担当制

[審議結果] 1. ■■■■■■より「これまでの実績を踏まえて、現理事長である■■■■■■が理事長として適任ではないか」という提案があり、全員から賛同のメールが届いたため、本案は承認された。
2. 理事の担当制による役割分担について理事長より提案があり、全員から賛同のメールが届いたため、本案は承認された。

2018 年度第 3 回理事会

[日時] 2018 年 10 月 20 日 (土) 14:00～16:08

- [場所] 当法人事務所
- [出席者数] 理事 7 名出席 (3 名欠席)
- [議案の内容] 1. 2018 年度上半期の会計・活動報告
2. 事務局体制と業務・相談時間の変更
3. 出版記念パーティについて
4. その他
- [審議結果] 1. 2018 年度上半期の会計・活動報告をおこなった。
2. 相談活動は月、水、金、土に限定して相談スタッフ 2~3 人体制にし、平日は 9:00~16:00 (受付終了 15:30)、土は 9:00~12:00 に対応することとなった。
3. 理事が実行委員となり、11 月 10 日に大阪で、12 月 8 日に東京でおこなう出版記念パーティの打ち合わせをおこなった。

2018 年度第 4 回理事会

- [日時] 2019 年 1 月 5 日 (土) 12:00~13:25
- [場所] 当法人事務所
- [出席者数] 理事 8 名出席 (2 名欠席)
- [議案の内容] 1. 出版記念パーティの収支報告
2. 事務局体制と活動報告
3. 今後の活動について
- [審議結果] 1. 結果を報告した。
2. 職員の退職に伴う募集方法について話し合った。
3. 2019 年度から開始予定の東京での相談活動の進捗状況や 2019 年度総会後の拡大患者塾の内容、2020 年度の 30 周年イベントについて討議した。

以上

2018年度特定非営利活動に係る事業収支計算書

特定非営利活動法人ささえあい医療人権センターCOML(コムル)

2018年4月1日から2019年3月31日

(単位:円)

科 目	2018年度年間予算額	2018年度決算額	差 異
I 収入の部			
1 会費収入			
正会員会費収入	1,700,000	1,707,000	△ 7,000
賛助会員会費収入	5,600,000	4,818,000	782,000
特別会員会費収入	1,500,000	1,830,000	△ 330,000
COML委員バンク会員会費収入		175,000	△ 175,000
2 事業収入			
調査協力収入	2,000,000	2,368,170	△ 368,170
講演収入	10,000,000	7,810,958	2,189,042
原稿収入	2,500,000	2,415,206	84,794
SP派遣収入	2,500,000	2,552,800	△ 52,800
書籍・物品収入	700,000	676,284	23,716
研修会収入	2,027,600	1,718,300	309,300
病院探検隊収入	1,296,000	1,728,000	△ 432,000
その他謝金収入	1,000,000	2,292,529	△ 1,292,529
旅費交通費収入	7,600,000	7,482,505	117,495
受取送料	30,000	46,120	△ 16,120
3 寄付金収入			
寄付金収入	5,402,900	5,760,548	△ 357,648
4 雑収入			
受取利息	2,500	2,142	358
雑収入		5,262	△ 5,262
当期収入合計(A)	43,859,000	43,388,824	470,176
前期繰越金収支差額	37,447,102	37,447,102	
収入合計(B)	81,306,102	80,835,926	470,176

科 目	2018年度年間予算額	2018年度決算額	差 異
Ⅱ 支出の部			
1 事業費			
給料手当	10,220,000	9,707,000	513,000
法定福利費	1,400,000	1,265,000	135,000
旅費交通費	9,531,000	9,559,380	△ 28,380
通信運搬費	1,456,000	1,306,445	149,555
印刷製本費	3,115,000	2,782,874	332,126
賃借費	3,005,000	2,992,040	12,960
諸謝金	3,410,000	2,812,346	597,654
書籍物品費	200,000	217,296	△ 17,296
図書研修費費	15,000	14,904	96
光熱水料費	343,000	304,000	39,000
災害保険料	42,000	5,000	37,000
消耗品費	310,000	88,490	221,510
消費税	800,000	1,015,300	△ 215,300
2 管理費			
給料手当	4,380,000	4,160,314	219,686
法定福利費	600,000	542,405	57,595
福利厚生費	500,000	302,000	198,000
旅費交通費	150,000	176,264	△ 26,264
通信運搬費	350,000	315,203	34,797
消耗品費	1,250,000	904,465	345,535
光熱水料費	149,000	130,756	18,244
賃借費	1,260,000	1,250,144	9,856
災害保険料	18,000	2,710	15,290
租税公課	80,000	72,864	7,136
支払手数料	500,000	432,166	67,834
諸会費	20,000	51,600	△ 31,600
交際費	20,000	7,000	13,000
減価償却費	30,000	200,103	△ 170,103
雑費	0	0	0
3 固定資産取得支出			
4 特定預金支出			
退職給与引当預金支出	705,000	397,520	307,480
5 予備費			
予備費	0	0	0
当期支出合計(C)	43,859,000	41,015,589	2,843,411
当期収支差額(A)-(C)	0	2,373,235	
次期繰越収支差額(B)-(C)	37,447,102	39,820,337	

2018年度貸借対照表

特定非営利活動法人ささえあい医療人権センターCOML(コムル)

2019年3月31日 現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	55,694		
普通預金	15,315,210		
定期預金	20,000,000		
未収入金	1,416,749		
棚卸資産	424,436		
流動資産合計		°37,212,089	
2 固定資産			
什器備品	300,156		
電話加入権	377,832		
事務所賃貸保証金	2,845,980		
退職給与引当特定預金	6,757,840		
固定資産合計		°10,281,808	
資産合計			°47,493,897
II 負債の部			
1 流動負債			
預り金	230,420		
未払法人税等	70,000		
未払消費税	615,300		
流動負債合計		°915,720	
2 固定負債			
退職給与引当金	6,757,840		
固定負債合計		°6,757,840	
負債合計			°7,673,560
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		37,447,102	
当期正味財産増加額		2,373,235	
正味財産合計			°39,820,337
負債及び正味財産合計			°47,493,897

2018年度会計財産目録

特定非営利活動法人ささえあい医療人権センターCOML(コムル)

2019年3月31日 現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	55,694		
普通預金			
三菱UFJ銀行	8,915,156		
三菱UFJ銀行	6,347,474		
三井住友銀行	25,638		
りそな銀行	26,942		
定期預金			
三井住友銀行	10,000,000		
りそな銀行	10,000,000		
未収入金	1,416,749		
書籍等	424,436		
流動資産合計		°37,212,089	
2 固定資産			
什器備品	300,156		
電話加入権	377,832		
事務所賃貸保証金	2,845,980		
退職給与引当特定預金	6,757,840		
固定資産合計		°10,281,808	
資産合計			°47,493,897
II 負債の部			
1 流動負債			
預り金	230,420		
未払法人税等	70,000		
未払消費税	615,300		
流動負債合計		°915,720	
2 固定負債			
退職給与引当金	6,757,840		
固定負債合計		°6,757,840	
負債合計			°7,673,560
正味財産			°39,820,337

役 員 名 簿

就任期間 2018年4月1日～2019年3月31日

特定非営利活動法人ささえあい医療人権センターCOML（コムル）

役職名	ふり 氏が なが名	報酬の有無
理事長	やまぐち いくこ 山口 育子	無
理事	あおき きみこ 青木 貴美子	無
理事	かみのう てつろう 上農 哲朗	無
理事	くさば てっしゅう 草場 鉄周	無
理事	くぼ すずこ 久保 鈴子	無
理事	さかうえ こういち 坂上 晃一	無
理事	たくま きよあき 田熊 清明	無
理事	ふるこ しんや 古府 伸也	無
理事	みやもと つねひこ 宮本 恒彦	無
理事	わきさか あけみ 脇阪 明美	無
監事	まつもと とういち 松本 藤一	無

前事業年度末実における社員のうち10人以上の者の氏名及び住所又は居所を記載した書面

特定非営利活動法人ささえあい医療人権センターCOML（コムル）

平成31年3月31日現在

	氏名	
1	やまぐち いくこ 山口 育子	[Redacted]
2	あおき きみこ 青木 貴美子	
3	かみのう てつろう 上農 哲朗	
4	くさば てっしゅう 草場 鉄周	
5	さかうえ こういち 坂上 晃一	
6	たかもり かつこ 高森 勝子	
7	にし かずこ 西 和子	
8	おがわ まさくに 小川 昌邦	
9	ふじもと やすこ 藤本 安子	
10	ふるこ しんや 古府 伸也	
11	みやもと つねひこ 宮本 恒彦	
12	たかはし いちろう 高橋 一郎	
13	むらかみ あさこ 村上 朝子	
14	すぎもと れいこ 杉本 麗子	
15	はまばた くみ 浜端 久美	
16	もり あやの 森 彩乃	

17	くぼ すずこ 久保 鈴子	[REDACTED]
18	よしだ みか 吉田 三嘉	
19	たぐま きよあき 田熊 清明	
20	わきさか あきこ 脇阪 晃子	